

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2008年第52号、2009年第1号 合併号(週報)

2008年第52週(12月22日~12月28日) & 2009年第1週(12月29日~1月4日)

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

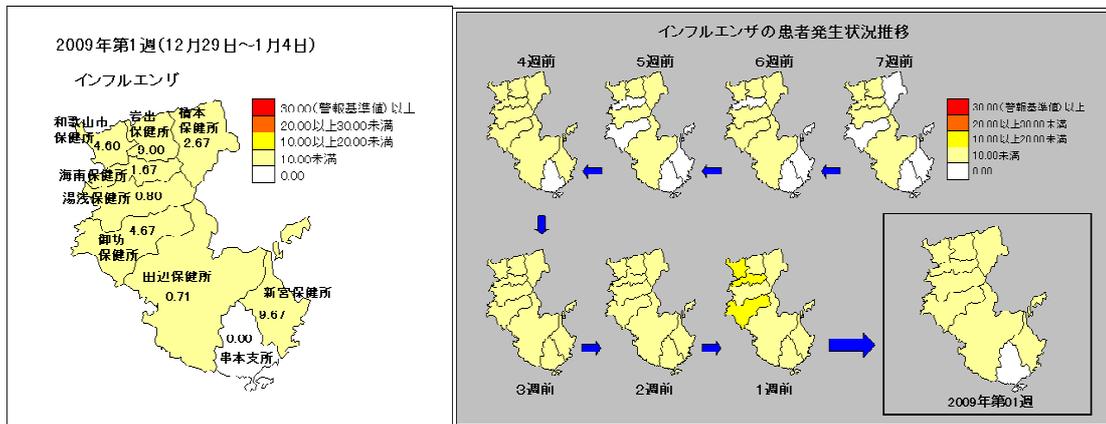
### — インフルエンザ —

今シーズンは流行の時期が早く、前年40週後半(11月中旬)から前年第52週まで患者報告の増加が続いた。第1週の患者報告については、年末年始の休みの影響で減少に転じた。報告数が最も多くなると推測される時期に冬休みに入っているため、今シーズンの流行の規模は小さくなる可能性はあるが、流行はしばらく続くと思われるので注意が必要である。

第52週は和歌山市、海南及び御坊保健所に注意報が発令されたが、第1週は全て解除された。しかしながら、第1週については定点医療機関の年末年始の休診日を含むため、実際の流行状況が報告に反映されていない可能性がある。

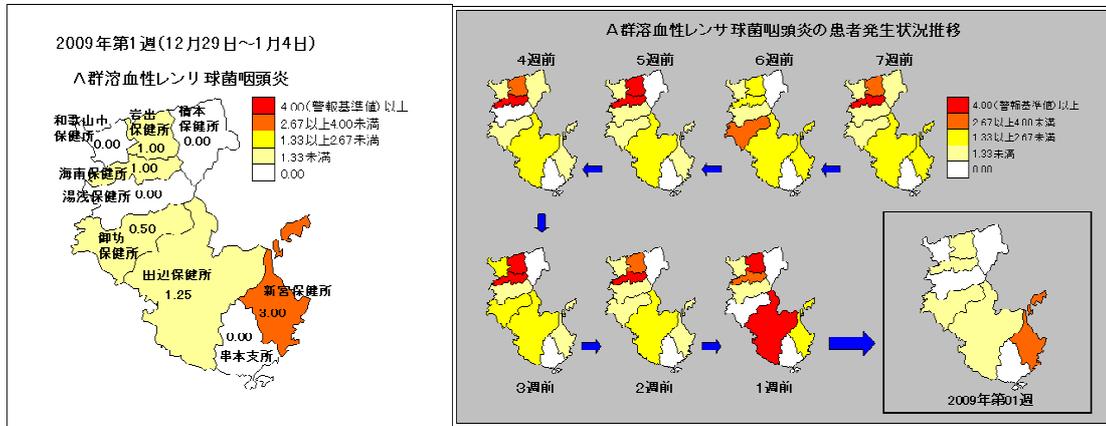
なお、第1週の患者報告については、新宮保健所管内(9.67人)、岩出保健所管内(9.00人)、御坊保健所管内(4.67人)の順が多い。

国立感染症研究所が発行するIDWR(第50週)によると、第36週から第50週(12/8~12/14)にかけて国内で分離されたインフルエンザウイルス(26都道府県、239件)の内訳は、AH1亜型[Aソ連](24.3%)、AH3亜型[A香港](46.4%)、B型(29.3%)となっており、AH3亜型[A香港]が多い。なお、和歌山県(ただし、和歌山市は除く)では、県環境衛生研究センターが分離したインフルエンザウイルス(14件)については、AH3亜型[A香港](12件、85.7%)、AH1亜型[Aソ連](1件、7.1%)、B型(1件、7.1%)であった。



— **A群溶血性レンサ球菌咽頭熱** —

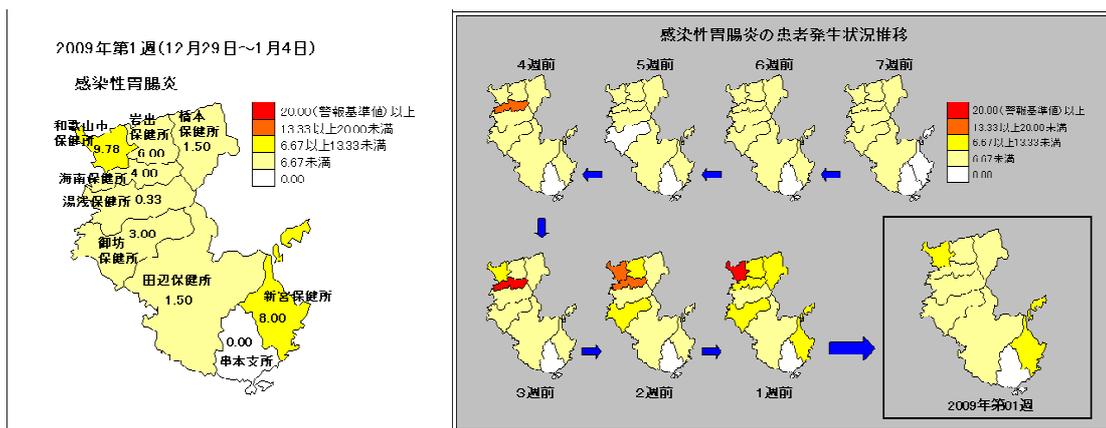
今シーズンも例年通り寒くなってから報告数が増加している。第1週の患者報告は年末年始の休みの影響で大きく減少したが、前年第52週までは比較的多い状況であった。第52週の報告時点では海南、岩出及び田辺保健所管内に警報が発令されていたが、これらの地域の警報は第1週の報告により全て解除された。しかしながら、第1週については定点医療機関の年末年始の休診日を含むため、実際の流行状況が報告に反映されていない可能性がある。例年、休み明けから再び報告数の増えてくることが多い。



— **感染性胃腸炎** —

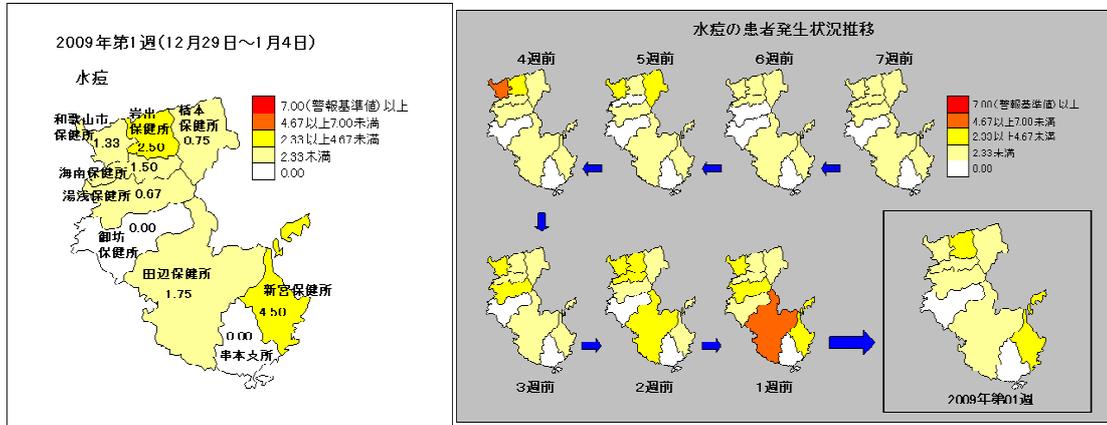
今シーズンの流行は例年と比較してやや遅い。前年第52週まで患者報告の増加が続き、第51週は海南保健所管内、第52週は和歌山市保健所管内に警報が発令された（海南保健所管内の警報は第52週に解除）。第1週の患者報告については年末年始の休みの影響で減少に転じ、和歌山市保健所管内に発令された警報も解除された。患者報告が最も多くなると推測される時期に冬休みに入っているため、今シーズンの流行の規模は小さい可能性はあるが、流行はしばらく続くと思われるので注意が必要である。

第1週の地域別の患者報告については、和歌山市保健所管内（9.78人）、新宮保健所管内（8.00人）、岩出保健所管内（6.00人）の順で多いが、第1週の報告については定点医療機関の年末年始の休診日を含むため、実際の流行状況が報告数に反映されていない可能性がある。



## — 水痘 —

今シーズンも例年通り寒くなってから患者報告が増加している。第52週までの患者数は比較的多い状況であったが、第1週は大きく減少し、和歌山市及び田辺保健所管内に発令されていた注意報については解除された。しかしながら、定点医療機関の休診日を含むことから、実際の流行状況は報告数に反映されていない可能性がある。一方、今週、新宮保健所管内に注意報が発令された。休診日の多いと思われる第1週の報告数が多かったため、実際はもっと大きな流行であった可能性も否定できない。今後の動向を注視する必要がある。



## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

＜届出状況＞ ※当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：報告はありませんでした。
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：つつが虫病 1名
- 5類感染症：報告はありませんでした。

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

＜警報注意報発令状況＞

### 警報発令

ありませんでした。

### 注意報発令

水痘（新宮保健所管内）

＜患者数上位5位＞

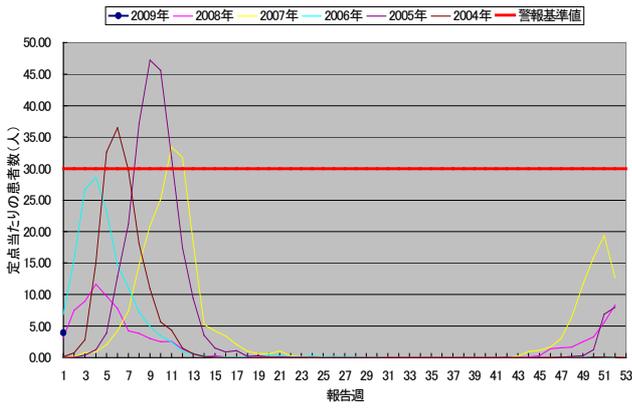
※（ ）内の数値は定点医療機関当たりの患者数

- 1位 感染性胃腸炎(12.42)
- 2位 インフルエンザ(8.34)
- 3位 水痘(2.87)
- 4位 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.00)
- 5位 流行性角結膜炎(1.00)

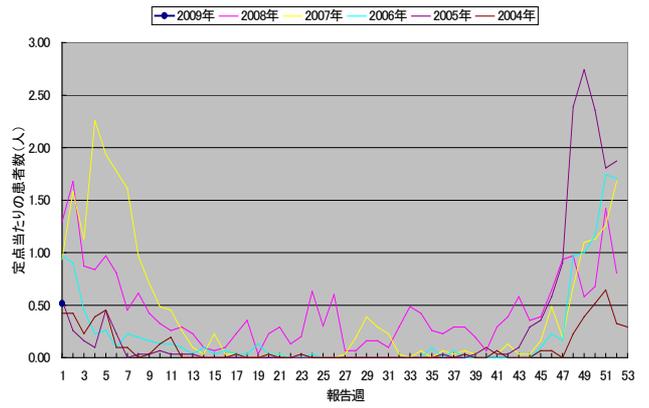
# ＜週報定点グラフ総覧＞

## 1. 患者数の推移（過去5年の推移と比較）

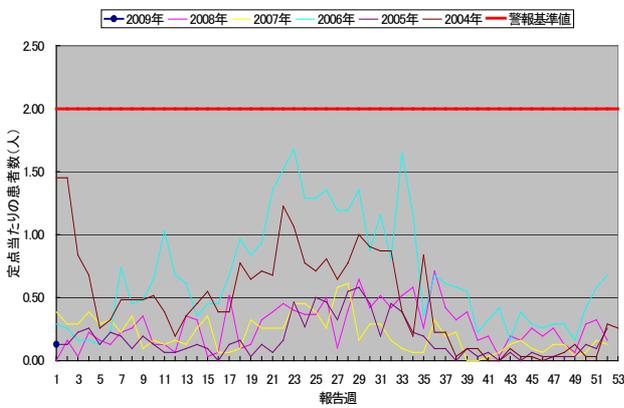
インフルエンザ(和歌山県)



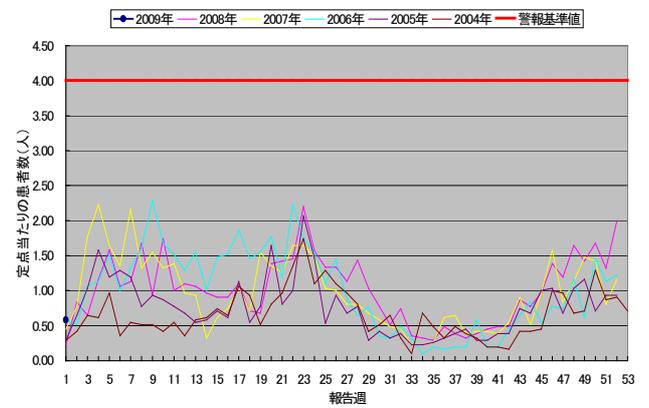
RSウイルス感染症(和歌山県)



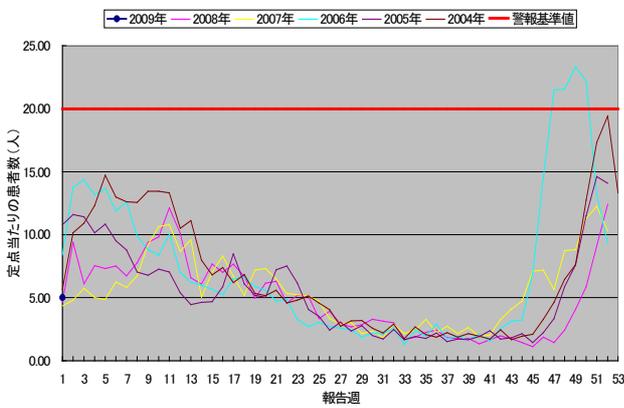
咽頭結核菌感染(和歌山県)



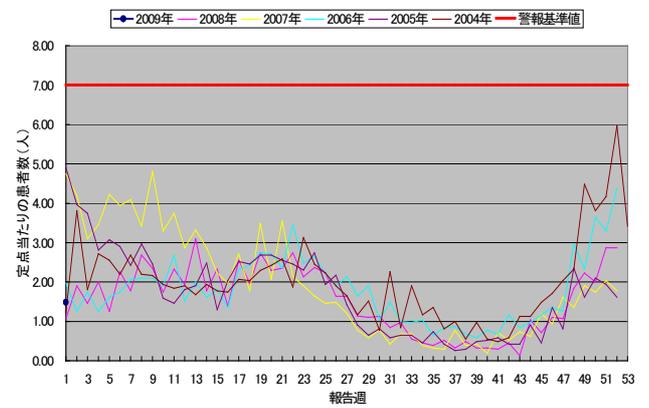
A群溶血性レンカ球菌咽頭炎(和歌山県)



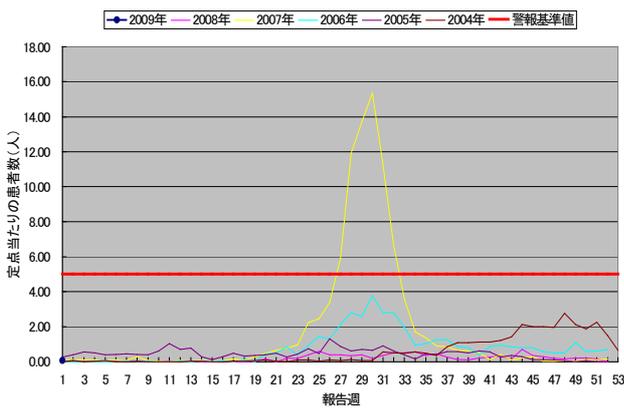
感染性胃腸炎(和歌山県)



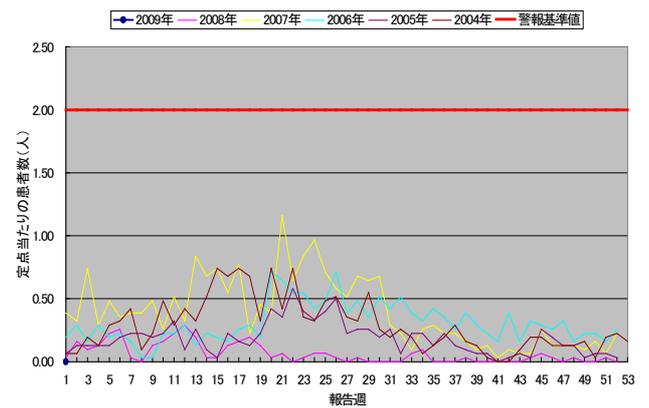
水痘(和歌山県)



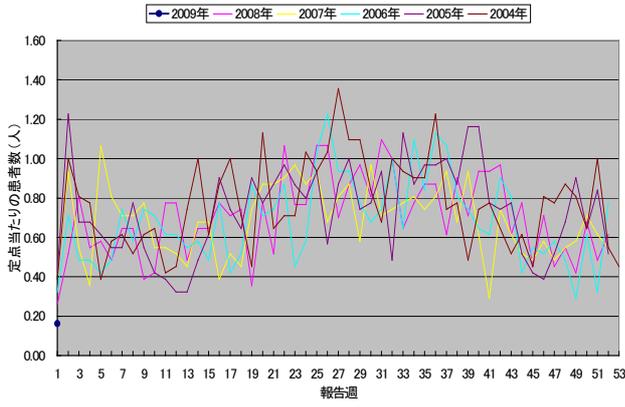
手足口病(和歌山県)



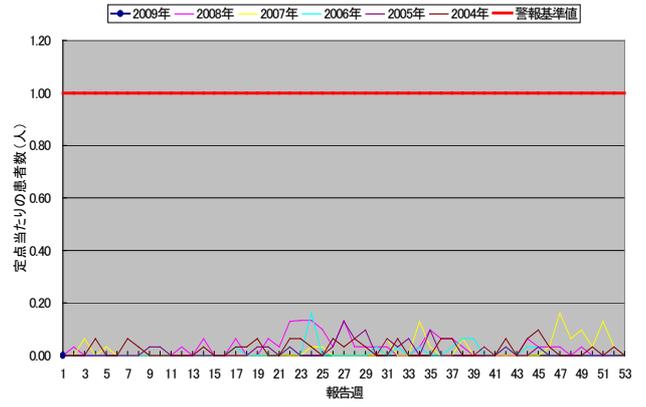
伝染性紅斑(和歌山県)



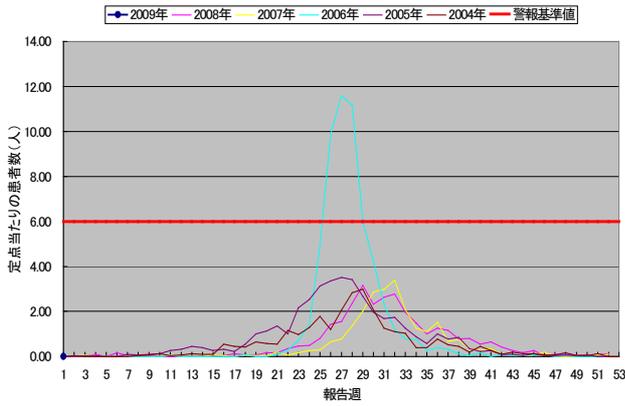
突発性発疹(和歌山県)



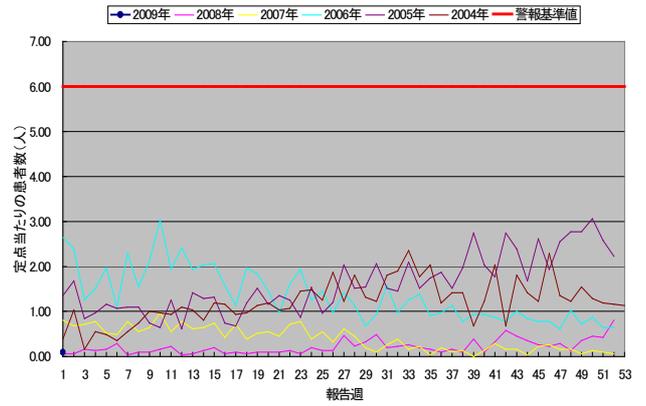
百日咳(和歌山県)



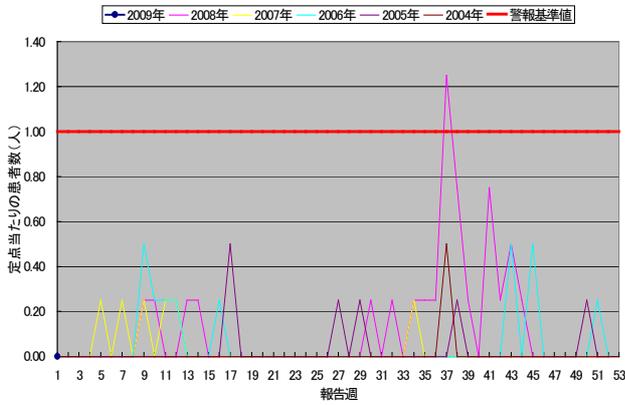
ヘルシギーナ(和歌山県)



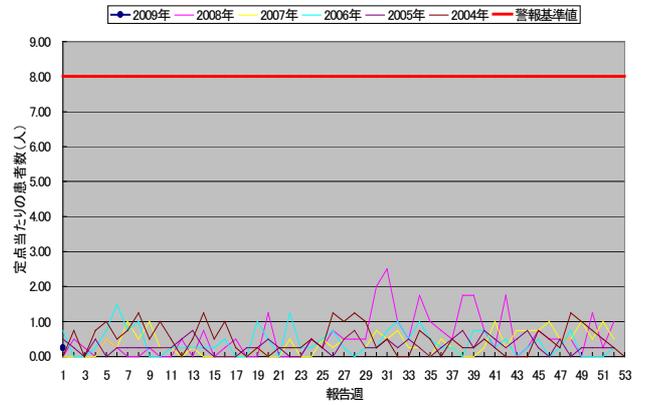
流行性耳下腺炎(和歌山県)



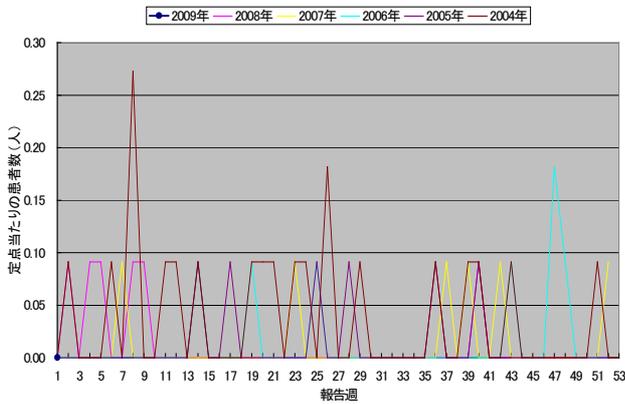
急性出血性結膜炎(和歌山県)



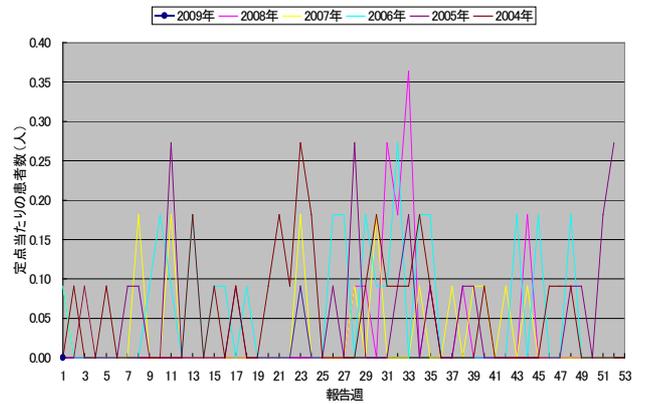
流行性角結膜炎(和歌山県)



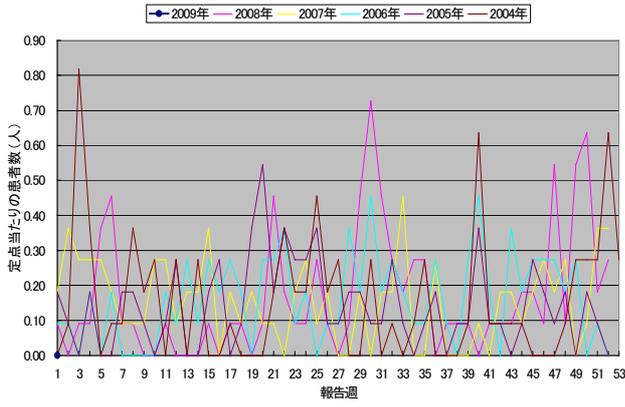
細菌性髄膜炎(和歌山県)



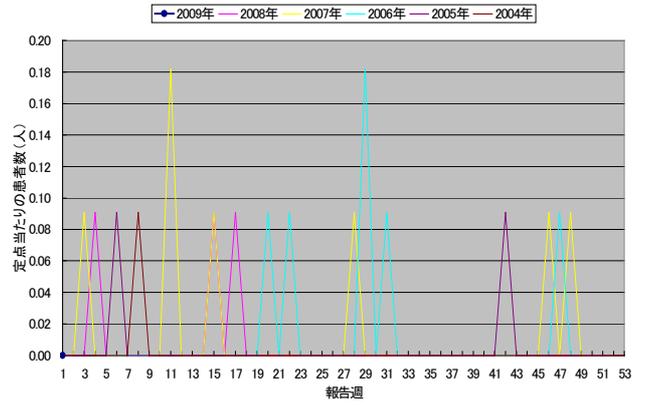
無菌性髄膜炎(和歌山県)



マイコプラズマ肺炎(和歌山県)

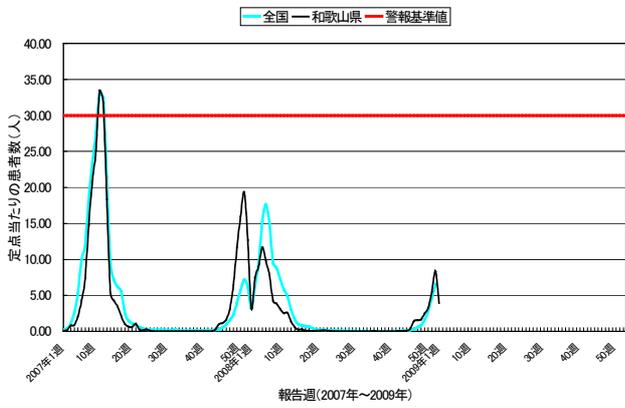


クラミジア肺炎(和歌山県)

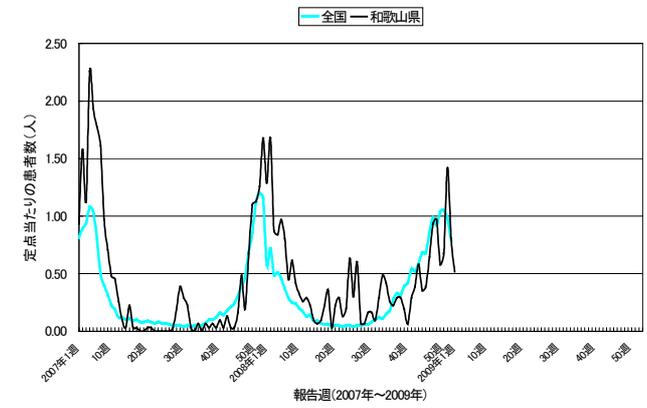


## 2. 患者数の推移 (全国と比較)

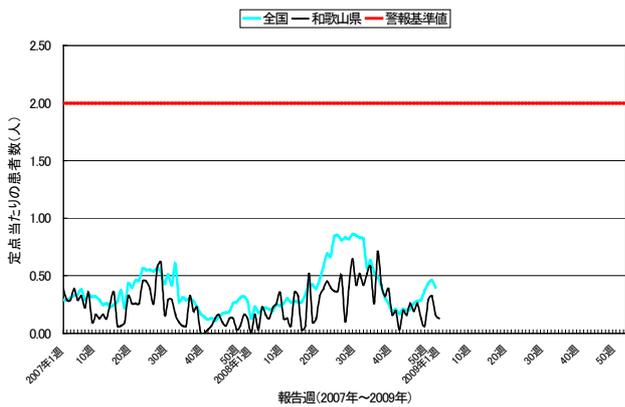
インフルエンザ



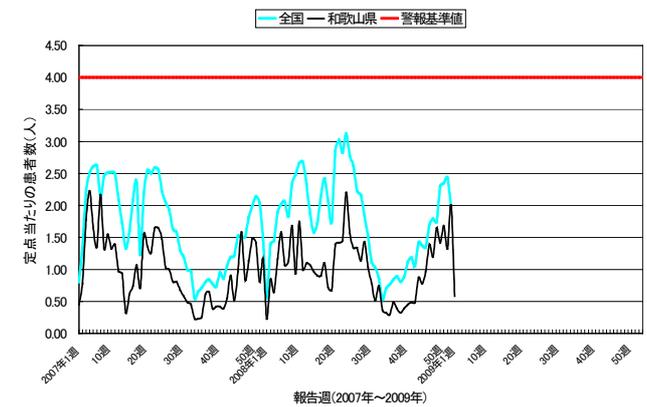
RSウイルス感染症



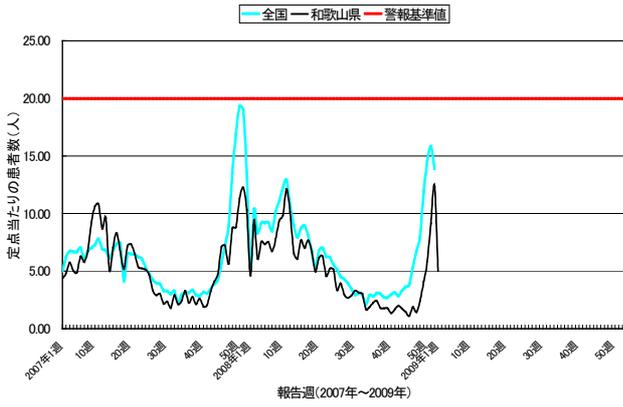
腺ウイルス感染症



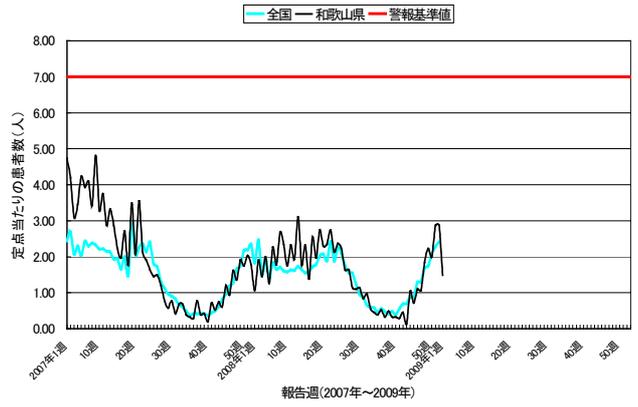
A群溶血性レンサ球菌感染症



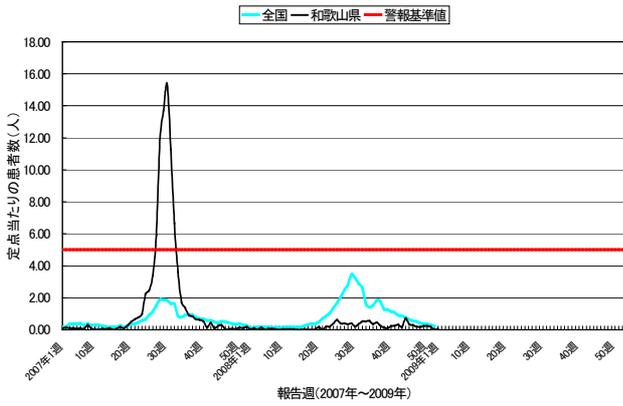
### 感染性胃腸炎



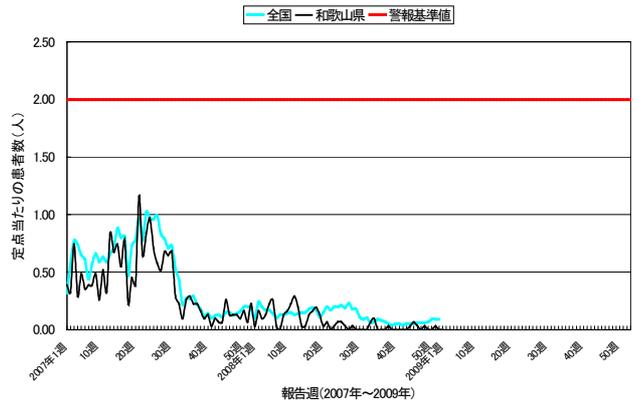
### 水痘



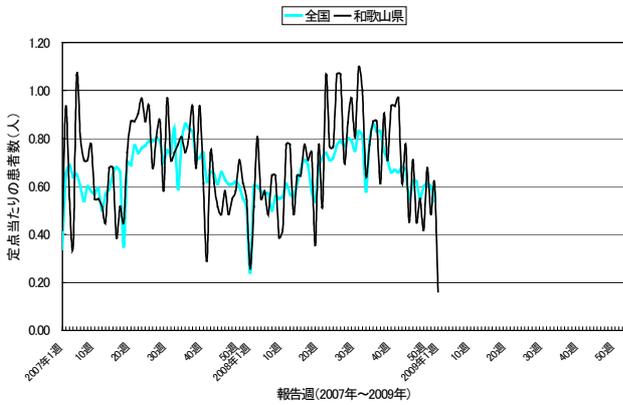
### 手足口病



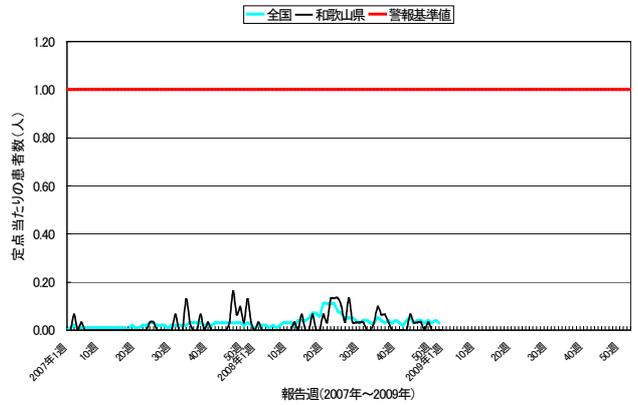
### 伝染性紅斑



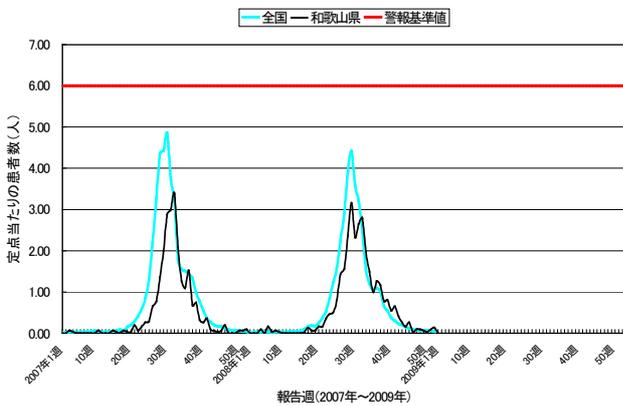
### 突発性発疹



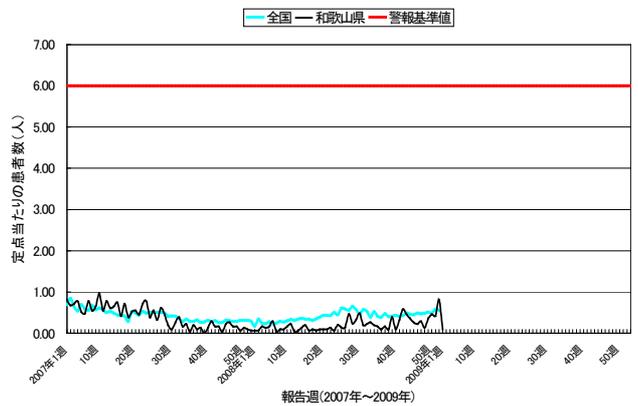
### 百日咳



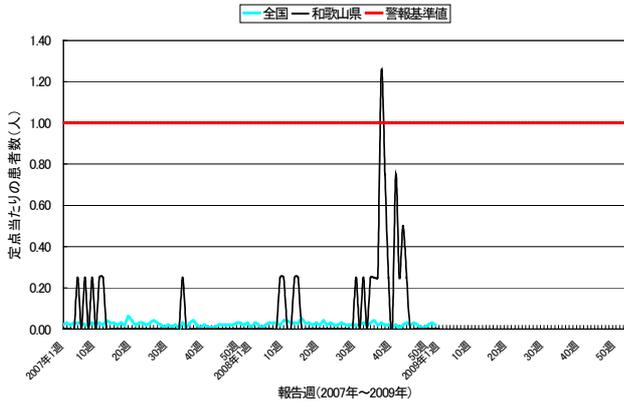
### ヘルペギナ



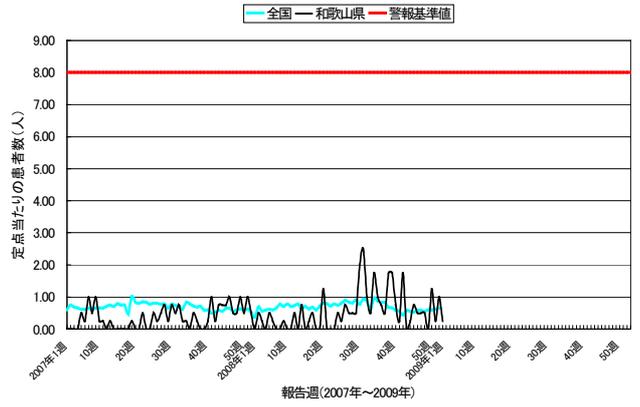
### 流行性耳下腺炎



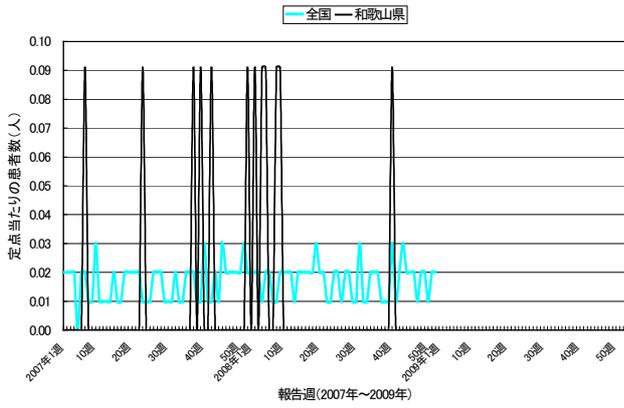
### 急性出血性結膜炎



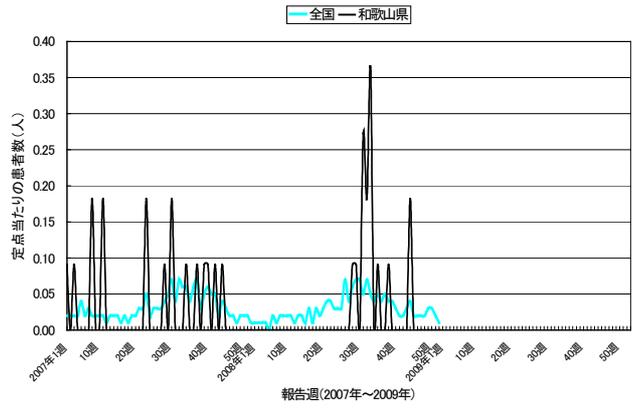
### 流行性角結膜炎



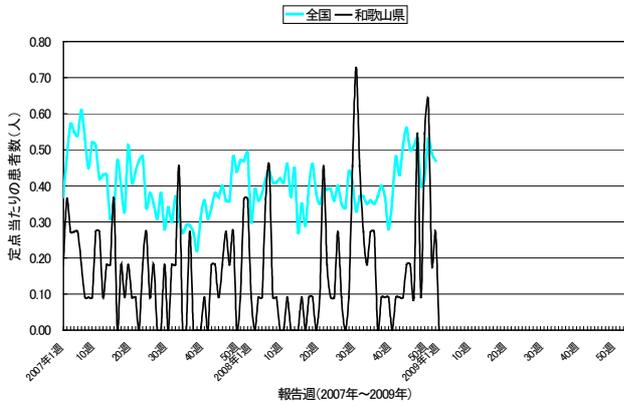
### 細菌性結膜炎



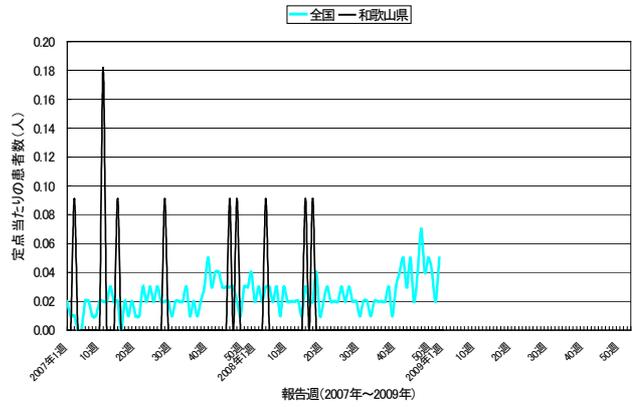
### 無菌性結膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎









(2008年第52週)

2008年第52週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	417	△199	51	19	△46	32	△33	16	17	4
RSウイルス感染症	25	9	8	0	1	3	2	0	2	0
咽頭結膜熱	5	1	2	0	0	0	0	2	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	9	○23	0	○7	2	0	○16	5	0
感染性胃腸炎	385	○207	47	40	22	6	23	24	16	0
水痘	89	△36	7	4	3	9	1	△24	5	0
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	19	5	3	2	0	4	0	3	2	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	25	9	0	0	0	△10	0	6	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	—	—	—	—	—	0	—	—
流行性角結膜炎	4	4	—	—	—	—	—	0	—	—
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
マイコプラズマ肺炎	3	0	2	0	—	0	1	0	0	—
クラミジア肺炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—

2008年第52週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	8.34	△13.27	8.50	3.17	△15.33	6.40	△11.00	2.29	5.67	2.00
RSウイルス感染症	0.81	1.00	2.00	0.00	0.50	1.00	1.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	0.16	0.11	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	1.00	○5.75	0.00	○3.50	0.67	0.00	○4.00	2.50	0.00
感染性胃腸炎	12.42	○23.00	11.75	10.00	11.00	2.00	11.50	6.00	8.00	0.00
水痘	2.87	△4.00	1.75	1.00	1.50	3.00	0.50	△6.00	2.50	0.00
手足口病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	0.61	0.56	0.75	0.50	0.00	1.33	0.00	0.75	1.00	0.00
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.13	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.81	1.00	0.00	0.00	0.00	△3.33	0.00	1.50	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	—	—	—	—	—	0.00	—	—
流行性角結膜炎	1.00	1.33	—	—	—	—	—	0.00	—	—
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—
マイコプラズマ肺炎	0.27	0.00	2.00	0.00	—	0.00	1.00	0.00	0.00	—
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—

(2009年第1週)

2009年第1週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	196	69	54	16	5	4	14	5	29	0
RSウイルス感染症	16	3	5	3	0	1	0	0	4	0
咽頭結膜熱	4	1	1	0	0	0	0	2	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0	4	0	2	0	1	5	6	0
感染性胃腸炎	155	88	24	6	8	1	6	6	16	0
水痘	46	12	10	3	3	2	0	7	△9	0
手足口病	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	5	1	0	2	0	2	0	0	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0
急性出血性結膜炎	0	0	—	—	—	—	—	0	—	—
流行性角結膜炎	1	1	—	—	—	—	—	0	—	—
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—
クラミジア肺炎	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—

2009年第1週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	3.92	4.60	9.00	2.67	1.67	0.80	4.67	0.71	9.67	0.00
RSウイルス感染症	0.52	0.33	1.25	0.75	0.00	0.33	0.00	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	0.13	0.11	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.50	1.25	3.00	0.00
感染性胃腸炎	5.00	9.78	6.00	1.50	4.00	0.33	3.00	1.50	8.00	0.00
水痘	1.48	1.33	2.50	0.75	1.50	0.67	0.00	1.75	△4.50	0.00
手足口病	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	0.16	0.11	0.00	0.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.10	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	—	—	—	—	—	0.00	—	—
流行性角結膜炎	0.25	0.33	—	—	—	—	—	0.00	—	—
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	—



(2009年第1週)

2009年第1週 年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)

疾病名	性別	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10～14		15～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80歳～		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
インフルエンザ	男	0	7	11	10	14	11	5	12	9	2	14	2	0	3	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119
	女	1	4	8	8	9	10	4	4	3	1	3	8	0	6	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77
	計	1	11	19	18	19	24	15	9	15	10	5	22	2	6	8	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	196	

2009年第1週 年齢階級層別の定点当たり患者報告数(和歌山県)

疾病名	性別	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10～14		15～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80歳～		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
インフルエンザ	男	0.00	0.14	0.22	0.20	0.20	0.28	0.22	0.10	0.24	0.18	0.04	0.28	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.38	
	女	0.02	0.08	0.16	0.16	0.19	0.20	0.08	0.08	0.06	0.02	0.06	0.16	0.00	0.12	0.00	0.02	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54
	計	0.02	0.22	0.38	0.36	0.38	0.48	0.30	0.18	0.30	0.20	0.10	0.44	0.04	0.12	0.06	0.14	0.06	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.92		

和歌山県感染症情報（WIDR）  
2008年第52号・2009年第1号合併号

発行日：平成21年1月8日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail [e0503001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0503001@pref.wakayama.lg.jp)

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。